

# 心の輪13R



『半分おとな 半分こども』という資料を通して、「礼の精神」について考えました！



地域の人たちとコミュニケーションをとったりするためや、相手に何かしてもらった時に、何もしなかったら相手もやりがいがないし、「折角やったのに…」と思うから、挨拶は必要だと思う。また、やった方が相手も自分も良い気持ちになると思った。

挨拶をしないと周りの人から「感じ悪」って思われるので、挨拶は大切だと思います。挨拶の大切さが分かったので、これからは恥ずかしくても近所の人などに挨拶をしっかりしないといけないなと思いました。

将来、社会に出た時、コミュニケーションをとるために日頃から挨拶することは大切だと思う。挨拶をしたら、スッキリして気分が良くなるし、自分も相手も良い気持ちになるから大切だと思う。

挨拶を自分からした時、返してもらえなかったら悲しいし、挨拶をしないと不快に感じる人はたくさんいるから、恥ずかしいと思った時でも、出来るだけするようにしたい。

挨拶は、みんなの気持ちを良くするためにあるのではないかと私は思う。挨拶をされた時も気持ち良くなるし、挨拶して返された時も気持ち良くなる。挨拶して返されなかった場合には、いつか返ってくると考えれば挨拶出来るのではないかと考えた。

挨拶は、社会に出ても普通に誰にでも挨拶が出来るようになるために必要だと思います。人と人とのコミュニケーションをとるために、色々なところで挨拶をしていこうと思います。

なぜ挨拶は必要か？挨拶は人とのコミュニケーションだと思った。人とのコミュニケーションは挨拶から始まると思う。

## 礼儀に込められた思い

挨拶は自分が行うだけではなく、相手から受けることがある。そのとき、どんな思いを伝えようとしているのだろうか。



●挨拶や、丁寧な言葉遣い、態度を受けて、気持ちが良いと思ったり、うれしかったり、思い出しを思い出してみよう。

## 礼儀へのためらい

挨拶するのも、応えるのも面倒。  
敬語を使うことが恥ずかしい。  
形だけのお辞儀をしてしまう。  
……そんなことはないだろうか。

文部科学省資料  
『私たちの道徳』P.49より引用

●礼儀の大切さがわかっていても、実際に振る舞えなかったのはなぜだろう。振り返って、考えてみよう。